

豊橋創造大学 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム 2025（令和7）年度 自己点検・評価報告書

2026（令和8）年4月
豊橋創造大学・豊橋創造大学短期大学部
合同教学マネジメント会議・教務委員会

■ プログラムの自己点検・評価を行う体制

教務委員会（大学、短期大学部）、および、合同教学マネジメント会議
責任者 小竹 伴照（副学長（教学マネジメント、学生支援、IR 担当））

■ 点検に用いた資料

- (1) 豊橋創造大学・豊橋創造大学短期大学部 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム概要
- (2) 2025 年度「データサイエンス入門」シラバス（全学科共通）
- (3) 2025 年度「データサイエンス入門」オンデマンド型授業の運営方法
- (4) 2025 年度「データサイエンス入門」使用教材例
- (5) 2025 年度「データサイエンス入門」成績評価まとめ
- (6) 2025 年度「データサイエンス入門」授業評価アンケート結果
- (7) 2025 年度「データサイエンス入門」外部評価結果

1. プログラムの履修・修得状況

本プログラムを構成する科目「データサイエンス入門」（選択科目）は、全学共通科目として 2025（令和7）年度秋学期からオンデマンド型授業として開講した。対象者 250 名（2024 年度入学生の 2 年生）に対して修了者は 91 名（大学 56 名、短期大学部 35 名）で、履修率は 36%となった。

なお、保健医療学部理学療法学科からの履修者はなく、0 名であった。今後はガイダンスやホームページ等を通じてプログラムの意義を説明し、多くの学生に興味を抱かせ、履修に結び付くよう継続して取り組む。

| | 保健医療学部 | | 経営学部 | 短期大学部 | | 計 |
|----------|--------|------|------|--------------|-----------------|-----|
| | 理学療法学科 | 看護学科 | 経営学科 | 幼児教育 ・保育科 | キャリア プランニング科 | |
| 対象者数* | 48 | 72 | 41 | 54 | 35 | 250 |
| 履修者数 | 0 | 30 | 26 | 31 | 4 | 91 |
| 履修率 | 0% | 42% | 63% | 57% | 11% | 36% |
| 履修率（学部別） | | 25% | 63% | | 39% | |
| 履修率（大短別） | | | 35% | | 39% | |

*2年生、2025/9/1時点

2. 学修成果

履修者 91 名のうち本プログラムを修了したものは 87 名となり、履修者の 96%が到達目標を達成することができた。(※なお、4 名については欠席過多による「失格」であった。) データサイエンスの基礎を身に付けさせるという本プログラムの目的は概ね達成できたものと評価できる。

| | 保健医療学部 | | 経営学部 | 短期大学部 | | 全体 |
|----------|--------|------|------|--------------|-----------------|-----|
| | 理学療法学科 | 看護学科 | 経営学科 | 幼児教育 ・保育科 | キャリア プランニング科 | |
| 履修者数 | 0 | 30 | 26 | 31 | 4 | 91 |
| 修了者数 | 0 | 30 | 23 | 30 | 4 | 87 |
| 修了率* | 0% | 100% | 88% | 97% | 100% | 96% |
| 修了率(学部別) | | 100% | 88% | | 97% | |
| 修了率(大短別) | | | 95% | | 97% | |

*履修者数に対する修了者数の割合

3. 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

本プログラム履修者全員に対して授業評価アンケートを実施し、学生の取り組み状況等の調査を行っている。2025(令和7)年度の授業評価アンケートの結果から、履修者の多くが本プログラムの学修に積極的に取り組み、また、その結果として到達目標の達成を実感していることが確認できた。

- ・ 設問1 授業への取り組み具合 「積極的(66%)」「すこし積極的(27%)」 → 93%
- ・ 設問7 学修到達目標の達成 「達成(70%)」「すこし達成(23%)」 → 93%

設問1 この授業へのあなたの取り組み具合はどの程度でしたか。

| | 理学 | 看護 | 経営 | 幼教 | キャリア | 計 | 割合 |
|--------------|----|----|----|----|------|----|------|
| 積極的に取り組んだ | | 8 | 6 | 14 | 1 | 29 | 66% |
| すこし積極的に取り組んだ | | 3 | 5 | 3 | 1 | 12 | 27% |
| あまり積極的でなかった | | | 1 | 1 | | 2 | 5% |
| 積極的ではなかった | | 1 | | | | 1 | 2% |
| 計 | 0 | 12 | 12 | 18 | 2 | 44 | 100% |

設問7 あなたはこの授業の学修到達目標を達成できましたか。

| | 理学 | 看護 | 経営 | 幼教 | キャリア | 計 | 割合 |
|-------------|----|----|----|----|------|----|------|
| 達成できた | | 10 | 5 | 14 | 2 | 31 | 70% |
| すこし達成できた | | 1 | 6 | 3 | | 10 | 23% |
| あまり達成できなかった | | 1 | 1 | 1 | | 3 | 7% |
| 達成できなかった | | | | | | 0 | 0% |
| 計 | 0 | 12 | 12 | 18 | 2 | 44 | 100% |

4. 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

アンケート結果によると、回答者（29名）全員が後輩等他の学生に履修を「勧めたい（66%）」「どちらかといえば勧めたい（34%）」と感じており、本プログラムは履修者から高く評価されたといえる。

設問12 この授業を他の学生に勧めたいと思いますか。

| | 理学 | 看護 | 経営 | 幼教 | キャリア | 計 | 割合 |
|----------------|----|----|----|----|------|----|------|
| 勧めたい | | 10 | 4 | 5 | | 19 | 66% |
| どちらかといえば勧めたい | | | 6 | 4 | | 10 | 34% |
| どちらかといえば勧めたくない | | | | | | 0 | 0% |
| 勧めたくない | | | | | | 0 | 0% |
| 計 | 0 | 10 | 10 | 9 | 0 | 29 | 100% |

5. 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

2025（令和7）年度から開始した本プログラムについては、春・秋のガイダンス・履修登録時に紹介スライドやチラシ配布を通じて周知に努めた。初年度となる今年度の履修者（※2024（令和6）年度入学の2年生のみ履修可能）は91名で、2年生全体での履修率は36%（大学：35%、短期大学部：39%）となった。

本プログラム（科目「データサイエンス入門」）は本学としては初めてとなる「オンデマンド型授業」（学習管理システム Google Classroom 利用）で実施した。アンケートを通じて「受講を決めたきっかけ」を尋ねたところ、最も多かったのは「オンデマンド授業であり空き時間に学修できるため（48%）」という理由であり、次いで「将来の就職・キャリアに役立つと思ったため」となった。

設問10 この授業の受講を決めたきっかけ（動機）を教えてください。

| | 理学 | 看護 | 経営 | 幼教 | キャリア | 計 | 割合 |
|---------------------------|----|----|----|----|------|----|------|
| オンデマンド型授業であり空き時間に学修できるため | | 4 | 7 | 3 | | 14 | 48% |
| 将来の就職・キャリアに役立つと思ったため | | 3 | 2 | 3 | | 8 | 28% |
| 家族や友人・先輩に勧められたため | | 3 | | | | 3 | 10% |
| データサイエンスやAIに興味があったため | | | 1 | 1 | | 2 | 7% |
| 初学者向けで取り組みやすそうだったため | | | | 1 | | 1 | 3% |
| その他 | | | | 1 | | 1 | 3% |
| 教職員に勧められたため | | | | | | 0 | 0% |
| 文系でも学べるデータサイエンスを体験したかったため | | | | | | 0 | 0% |
| 計 | 0 | 10 | 10 | 9 | 0 | 29 | 100% |

一方で、「オンデマンド型授業」という未体験の授業形態に対して不安を感じ、履修を避けた学生が一定数存在したことが予想される。今後は、従来のプログラム案内（ガイダンスや配布チラシ）に修了者の声を掲載して紹介するとともに、学修サポート体制を明確に示すことで、履修を迷う学生の不安を取り除き履修率の向上を図る。

6. 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価

2025（令和7）年度から開始したプログラムとなるため、プログラムを履修した学生が卒業するのは保健医療学部・経営学部で2027（令和9）年度末、短期大学部で2025（令和7）年度末となる。このため、現時点で本プログラムを修了して卒業した学生はいない。

今後は、本プログラム修了者の活躍状況や企業等の評価を把握できるように、関連部署（キャリアセンター等）が行う従来の卒業生に組み入れる等、連携しながら把握方法について具体的に検討・準備する。

7. 産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見

2025（令和 7）年度の本プログラム実施内容および結果について、各分野の有識者に評価を依頼した。結果として、プログラムの目的や教育内容、実施体制、教材や評価方法はそれぞれ「適切である」との評価を受けた。なお、「今後の改善・発展に向けた提案」事項として、「教材や教育方法の工夫」「成績の詳細分析とその対応（事前学習の工夫等）」に関する意見があり、次年度に向けて具体的な改善案を検討し実施する。

なお、令和 8 年度以降は、本学が設置する自己点検・評価を行うための委員会「自己点検・評価委員会」と連携し、毎年度、産業界からの視点で本プログラム評価を依頼することとしている。寄せられた意見を参考に、継続的にプログラムの改善を行う。

8. 数理・データサイエンス・AI を「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること

LMS（学習管理システム、Google Classroom）を活用し、分かりやすいビデオ教材へのリンクや実社会における例を交えた平易な解説スライド※を提示することで、数理・データサイエンス・AI を学ぶことの意義を分かりやすく伝えることに努めている。

※ 数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアムが公開している「リテラシーレベルモデルカリキュラム対応教材」も活用

9. 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること

LMS（Classroom）を活用し、分かりやすいビデオ教材と実例を交えた平易な解説スライドを用いることで、履修者が都合の良い時間に自分のペースで自学自習できる環境を整えている。また、各回の学習範囲の確認テスト → 復習後の次回授業冒頭に実施する出席テスト（前回の内容の確認）の学修サイクルにより、知識の定着・理解度の向上を図っている。

授業評価アンケートにおいては、「授業がわかりやすく理解できるように工夫されていたか」の質問に対する回答が「工夫されていた（64%）」「すこし工夫されていた（25%）」となり、プログラム（科目）で提示した学習教材や授業構成・進行に関して多くの履修生から高く評価されていることを確認できた。

設問3 授業は内容がわかりやすく理解できるように工夫されていましたか。

| | 理学 | 看護 | 経営 | 幼教 | キャリア | 計 | 割合 |
|-------------------|----|----|----|----|------|----|------|
| 工夫されていた | | 8 | 6 | 12 | 2 | 28 | 64% |
| すこし工夫されていた | | 3 | 4 | 4 | | 11 | 25% |
| あまり工夫されていると感じなかった | | | 2 | 2 | | 4 | 9% |
| 工夫されていなかった | | 1 | | | | 1 | 2% |
| 計 | 0 | 12 | 12 | 18 | 2 | 44 | 100% |

以上